

日本あちこち河川遡行記(第 242 回)

京都 1-2-2.鴨 川(その 3) 前半 平成 30 年 6 月 1 日(金)晴

鴨川三回目の遡行に出かける。のぞみ無しのジパング利用で京都まで行くのに料金と電車ダイヤ、費用対効果、時間便益を考えると岡山から姫路まで新幹線、姫路からは新快速利用が最も合理的な利用法となる。姫路 8 時 10 分発の新快速は始発で立客も多く発車し、加古川、西明石と増加し満員に、8 時 35 分の明石で下車と乗車が逆転し、神戸、三宮で多くの下車となる。朝の通勤時刻の限度が 8 時 50 分の三宮のようで 9 時 15 分の大阪では遅い時刻となり車内が空いてくる。

9 時 45 分に京都に着き市営地下鉄のホームに向かうと電車待ちの大勢の若者が並んでいる。学生さんの通学ラッシュがこの時間帯のようで、他の地下鉄ではあり得ない時刻の混雑である。さすが学生の人口比一番の京都である。「北大路」駅で降り北大路通りの歩道に出る。ここまで十条から真っ直ぐ烏丸通を北にやって来た烏丸線は、ここ北大路の駅の手前で S 字カーブを描いて西側にずれて線路が引かれている。「何でだろうー、何でだろう」。線路はこの先大きく右に曲がり「北山通り」を東に向かうので、その曲線半径を小さくするために西側に寄せ民地の下を潜ったのかな？北大路と言えば「魯山人」、「欣也」の名前が出てくるが、「東大路」と「西大路」では出てこない。再び「何でだろうー、何でだろう」。

南側の歩道を東に歩くと十数名の園児が水筒をぶら下げて一団になって歩いている。今日は園外保育のようだ。追い越して頭上を見ると燕が巣から顔を出していたので園児に教えると全員上を見てくれる。



01.あれが燕の巣だって

200m ほどで今日の最初の橋である「北大路橋」の西詰に着く。東の彼方に

は比叡の峰が見える。橋は両側に防護柵で守られた歩道と中央に 5 車線の車道が有る。真ん中の 1 車線は橋の両側の右折車線として半分ずつ使用する合理的な構成でグー。橋の下に潜ると、車道部の桁の大きさ、間隔と歩道部のそれが違うのが分かる。これまたグーである。防護柵に守られた歩道に重い車は乗れないので荷重の違いを桁の配置などに考慮したのである。



02.「北大路橋」の彼方に比叡の峰が



03.両端の歩道部と中央の車道部の桁はけた違いだ

橋を通過し右岸側の河川敷に出ると素晴らしい景観が現れる。土手の両側には大きな木々の塊、河川敷にはクローバーの緑、そして所々に花木の塊が、その間を遊歩道が延びている。今まで多くの川を歩いて来たがこの河川敷は最高である。川の水の流れる幅と緑の河川敷の広さと土手の木々の高さ、密度のバランスが良いのだ。遊歩道も上下 2 段も有るのだ。彼方の植物園の存在も大きい。



04.素晴らしい景観の河原だ



05.クローバーと花木が続く遊歩道

北大路を越えると洛中から洛外となる。洛北だ。気持ち良く北に進むと対岸

の遊歩道で結婚式衣装の二人を数名のスタッフが取り囲み写真を撮っている。結婚式場の商業写真でも撮っているのかな。ここなら良い写真が撮れるよな。



06.向こうでは結婚式場の商業写真撮り中

川は北北西の方向から一直線に流れ、当方は次の「北山大橋」にやって来る。橋は橋台、橋脚の耐震補強工事の真っ最中である。ここにも多くの保育園児がやって来ている。今日は全市一斉お出かけ日なのかな？



07.「北山大橋」は下部工の補修工事中

08.今日は保育園の外へお出かけ

遊歩道から橋の西詰に上がり橋を東に向かう。東詰の交差点を北に越えると向かい側の角に瀟洒な建物が木々に囲まれている。「北山通り」の標識の直ぐ近くの木柱には「京都府京都土木事務所」と書かれ、この建物は土木事務所のような。良い環境の場所と建物の中に土木事務所が有るのだなー。

今度は左岸側の遊歩道を北に向かう。対岸では園児が大勢並んで保育士の話を聞いている。色とりどりのキャップがいいねー。ここからの河川敷は狭くなり、先ほどまでが★★★なら、ここからは★★となる。



09.京都府の土木事務所は優雅な建物
どすな



10.全員集合！

「上賀茂橋」を過ぎると更に狭まり★となる。川は緩やかなカーブとなり堰の数も多くなる。県道 38 号の「御蔭橋」は真っ新な橋になっている。調べると、それまでの橋が撤去され新橋の下流側半分が完成し暫定供用されている。桁は PC 桁であるが桁高の低い割にはスパンが長く、桁の形も少し違う。どうやら桁の中に H 形鋼を組み入れた複合構造のように思える。旧橋の西側半分は無くなり対岸の橋台が完成している。これから東半分を撤去し、橋脚、橋台の施工、そして上部工とまだ数年はかかりそうである。



11.「御蔭橋」の新橋の南半分が完成
て



12.長いスパンの PC 桁の形が変わっ
いるな



13.旧橋の半分は撤去済み

[続く]